

三次市教育委員会会議録

1. 日 時 平成26年1月28日(火)

開会 午後 2時00分

閉会 午後 3時10分

2. 会 場 みよしまちづくりセンター 2階 会議室

3. 出席委員 委 員 長 沖 田 稔

委 員 小 根 森 直 子

委 員 藤 原 博 巳

委 員 土 井 純 子

教 育 長 児 玉 一 基

4. 出席職員 教 育 次 長 白 石 欣 也

学校教育課長 加 藤 良 二

教育委員会事務局付課長 迫 田 隆 範

社会教育課長 落 田 正 弘

教育総務係長 道 々 尚 美

社会教育課主任 宮 西 美 裕

5. 議事日程

(1) 議案第40号 平成26年度就学児等の措置について(非公開)

(2) 議案第41号 三次市青少年指導相談員の任命について(非公開)

(3) 議案第42号 三次市学校支援員の任用について(非公開)

社会教育課長 ただいまから教育委員会会議を開会する。委員長の挨拶をお願いします。

沖田委員長 ー挨拶ー

社会教育課長 委員長に進行をお願いします。

沖田委員長 それでは、これから議事に移るが、本日の議題のうち、議案第40号については個人情報のため、また議案第41号、議案第42号については人事案件のため、公開になじまないものと判断する。については同会議規則第16条第1項により非公開にしたいと思うので、皆さんにお諮りする。異議はないか。

委員一同 ー異議なしー

沖田委員長 それでは、議案第40号から議案第42号については非公開とする。

沖田委員長 続いて、教育長報告をお願いする。

児玉委員(教育長) まず、社会教育課関係について報告する。財団法人三次市教育振興会の法人格移行については、平成26年1月14日に広島県公益認定等審査会で審査され、認定の基準に適合していると判断され、県知事へ同日付で答申された。今後、移行登記事務を経て、本年4月1日に公益財団法人へ移行する予定である。

平成26年1月25日に高杉町段遺跡発掘調査報告会を調査現場において開催し、学識経験者や考古学ファンなど約30名の参加があった。今回の調査で確認した遺構は古墳時代前期の竪穴式住居跡1棟、柵列、土こうなどである。遺物としては弥生中期の甕片や中世の土師質土器などが出土していることから、弥生中期から中世までの複合遺跡であることが確認できた。このことはこの地方の歴史を紐解く上で貴重な調査となった。

平成25年12月議会定例会において、(仮称)三次市民ホールの施設名称が「三次市民ホール」として正式に承認された。平成26年2月14日まで全国から市民ホールの愛称を募集している。詳細については、後ほど担当課から報告させる。

次に学校教育課関係について報告する。鈴木三重吉賞で市内児童生徒が特選5作品、優秀賞4作品、佳作74作品を受賞し、詩の部の学校賞で君田中学校が受賞した。また、ことばの輝き優秀作品コンクールでも、最優秀賞に1作品、優秀賞に6作品が入賞するなど、大きな成果が出てきていることは大変喜ばしい。

三次市学力到達度検査については、平成26年1月16日(木)・17日(金)に小学校1年から中学校2年までの全児童生徒を対象に実施した。結果については2月中旬までに返却する予定である。

学力向上対策チームの取組の一つとして、1月27日(月)に小中学校研究主任を対象に、「基礎・基本」定着状況調査で課題があった問題に関する内容について、指導教諭が示範授業を実施して、具体的な改善方策を示した。具体的な取組を各学校で計画的に進め、県内トップ5へ挑戦する。県内で不祥事が続発している状況がある。1月6日には、県の臨時教育長

会が開催された。本市においては、「不祥事を起こさない、起こさせない」を合言葉に、不祥事根絶の取組を引き続き徹底する。

学校教育課の学事や施設の関係についてだが、現在ノロウイルスが大変流行しているため、学校現場へ注意をするよう指導している。

12月27日に酒河小学校増築校舎落成式を挙行し、約60名の出席をいただいた。年明けの1月19日には、酒河小学校と同PTAの共催で「増築校舎落成を祝う会」が開催され、同校児童、保護者や地域の方々が出席された。

前回の教育委員会会議で報告した三良坂小中一貫教育校の呼称（愛称）について、翌12月25日に告示を行い、「みらさか学園」となったことを公表した。

平成26年度の学校選択希望届出は昨年11月の1か月間、受付を行い、新規分の整理を終えたので、その数値のみをとりあえず報告させていただく。届出数は小学校が37件、中学校は41件で、全て第1学年のみである。人数は、小学校は例年並み、中学校は若干増えている。この学校選択希望を反映した小中学校の就学通知書は、1月末までに保護者に通知し、その名簿は各学校に送付する。

1月10日の定例校長会で、めざす子ども像「ふるさと三次を愛し、誇りに思い、夢をもち学び続ける力と社会の一員として積極的に貢献する志をもった子ども」を実現するため、果敢に「挑戦」する年にしたいと話をした。前提条件として児童・生徒が安全・安心で楽しく学べる学校、不祥事の根絶、一人ひとりが孤立しないで、組織力・チーム力で教育を行うことの3つを示した。平成26年に取り組む主要事項としては、三次市総合計画（素案）の完成、県内トップ5の実現、小中一貫教育の本格的な取組と保・小・中・高連携の強化、日本一の英語教育の推進と理科教育の充実、人材育成の5つを挙げた。

議案第40号 平成26年度就学児等の措置について
（個人情報につき非公開）

議案第41号 三次市青少年指導相談員の任命について
（人事案件につき非公開）

議案第42号 三次市学校支援員の任用について
（人事案件につき非公開）

沖田委員長 これをもって本日の会議を終了する。